

# アム

主な記事

2~3面 男の介護は山あり谷あり／男性45人に聞いてみました  
樋口恵子さん「男性諸兄、介護の世界によろこそ」  
4面 立川・この人／立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所紹介  
／編集委員紹介／AIM・インフォメーション

発行／立川市女性総合センター(男女平等参画課)  
企画・編集／市民編集委員  
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2  
☎ 042-528-6801 FAX 042-528-6805  
e-mail danjobyoudou@city.tachikawa.lg.jp

(全文は立川市ホームページ <http://www.city.tachikawa.lg.jp> からサイト内検索で)

## 男の介護は



あり



## 谷あり

今年も大盛況

第5回たちかわ  
男女平等フォーラム

テーマ

衝撃！  
日本は世界で101位

～ここから発信しよう男女平等参画へ

平成25年6月8日～16日

介護は人生を  
かえます

### 幸学習館の「男性介護者の集い」を訪ねて

北部東わかば地域包括センターが主催する「第17回男性介護者の集い」を訪ねました。介護をしながら悩んでいることや、喜びなどぎゅぐゅばらんに語り合っているお一人おひとりの話をまとめました。

**Aさん** 私は病院というのは最後まで見てくれるところと思っていました。最近では違います。やはり自分が看なければならぬということを感じています。母は食事も一人でできるのですが、お風呂、トイレはほとんど私が介護しています。

**Bさん** 私は老人会の会長を務め始めて3年になります。最初は何も分からなかったのですが、老人会の中で包括センターの支援員と一緒に「デイサービス」など言葉を一つひとつ勉強する中で近所の女性たちもわれわれの姿を見て、介護に興味を持ち始めたりしたようです。

**Gさん** 妻はアルツハイマー病

**Aさん** 介護で難しいのは仕事との両立ですね。仕事と介護の両方をやるのは難しい。結局、自分自身、母親に無理強いしてしまつて、迷惑掛けたと思つていま

**Cさん** うちの兄は糖尿病で水をたくさん飲んで、夜中に何度も起きます。会話するのも難しいです。私が言うのと命令され、管理されているような錯覚を覚えるようです。

**職員** お気持ちはよく分かります。

**Dさん** 介護保険は市町村によっても違うんですが、介護に10万円も20万円も払えませんが、少ない年金じゃ、とてもでも家族や兄弟が支えなければやっていけません。

**Eさん** 私はこの集いに初めて参加しました。現在、ケアマネジャーの仕事をしています。4年前、母親が脳出血で倒れました。倒れる前は男勝りで元気そのもの。それが気弱になって不安症状があります。認知症もあり、今の市の施設に入っていますが、私のことも分からなくなりました。という感じです。

**Fさん** 私は自分が老齢なので

**Dさん** 介護保険は市町村によっても違うんですが、介護に10万円も20万円も払えませんが、少ない年金じゃ、とてもでも家族や兄弟が支えなければやっていけません。

**Eさん** 私はこの集いに初めて参加しました。現在、ケアマネジャーの仕事をしています。4年前、母親が脳出血で倒れました。倒れる前は男勝りで元気そのもの。それが気弱になって不安症状があります。認知症もあり、今の市の施設に入っていますが、私のことも分からなくなりました。という感じです。

**Fさん** 私は自分が老齢なので

参加者は9人(職員含む)。年齢、介護者、介護経験の年数は以下の通りです。

- Aさん=60代、母親、5年
- Bさん=70代、母親、2~3年
- Cさん=70代、兄、3年
- Dさん=70代、父親・母親・妻、17年6か月
- Eさん=40代、母親・妻の父親・妻、5年
- Fさん=80代、妻、5年
- Gさん=70代、妻、2年6か月
- Hさん=50代、父親、4年

もいませんでした。最近はあるうになれ、という心境ですね。ある程度あきらめています。つまりない心配はしないようにしています。

**Gさん** 私は介護の年数はそんな

す。 WEF(世界経済フォーラム)が発表したジェンダーギャップ指数のランキングで、日本はなんと135か国中101位(2012年)。とりわけ政治・経済分野での女性参画の遅れが指摘されています。そこで、今回はそのことを広く市民に知ってもらおうという企画です。

6月9日のメイン・イベントは、女性学の第一人者である上野千鶴子さんの講演会「リブから40年、日本の女はどこまで変わったか?」を実施しました。

静かな口調で、時折ユーモアを交えつつ、リブの歴史から、男女雇用機会均等法の成立と同時に労働法制の規制緩和が行われ、女性の雇用状況が正規雇用から非正規雇用へと移っていったこと、現在は女性の58%が非正規で、非正規雇用の7割が女性という状況になっていることを明確にされました。

がんばったものは報われ、努力や能力が低かったものは報われないという考え方は、女性や社会的弱者を傷つけ孤立させるものでしかないと話されました。参加者は、大きくなずきつつ聴き入っていました。

今年も、フォーラム期間中、AIM登録団体の企画として12のワークショップが開催され、盛況でした。女性たちの社会進出をこの立川から盛り上げていきたいと思えるフォーラムでした。



文字通訳も付いた上野千鶴子さん講演会



# 立川この人

## 「文字通訳」の普及を夢みて

全国文字通訳研究会理事 曾根博さん



### ●文字通訳というのは？

聴覚障害者に文字で情報を提供するため、音声パソコンで文字入力し、スクリーンに映し出すことを言います。

4人がチームを組み、そのうち2人ずつがペアになります。互いの入力がかかる画面で相手の状況を確認しながら、あうんの呼吸で音声を短く区切って、同時並行で入力していきます。各ペアは10分ほどずつ交代で入力を担当し、2人は休憩しつつ、誤字や脱字を修正します。

6月9日に開催された「5回たちかわ男女平等フォーラム」のメイン講演会では、市の行事では初めて「文字通訳」が導入されました(1面フォーラム写真を参照)。講演者の上野千鶴子さんが話すと同時に、それがそのまま文字となつてスクリーンに流れ、満場の参加者は目を見張りました。

私は聴覚障害者ですが、健聴者と同様に、リアルタイムで講演やテレビを楽しむことが

できる文字通訳にひかれていきます。パソコンが好きなこともあって、機材の準備や事前に資料を集めるなどのお手伝いもしています。

### ●文字通訳との出会いは？

小学5年生のとき、突然聴力を失いました。しかし母も小学校の担任の先生も、紙や黒板に書いて伝えてくれました。おかげで、文字で書いてもらえば、意思疎通に困らないと感じて育ってきました。

それ以来、時々テレビの横にパソコンを置いて、友人が送ってくる文字を見ながら、テレビを楽しんでいました。そして次第に、この方法を使えば、いろいろな場面で健聴者と同じように情報を得られるのではないかとこの考えが生まれてきたのです。

### ●文字通訳はまだ一般的ではないようですが

文字通訳はパソコンを何台もつないで行うので、技術的

し出す、要約筆記という方法が先行しています。歴史的な蓄積から、担い手も比較的多く、派遣などの制度も整っています。しかし、要約することによって話が圧縮され、語尾の微妙な変化や冗談が消えてしまい、講演を味わうところまではないかもしれません。ときには話のニュアンスが変わってしまうこともあるなど、私のような聴覚障害者には、課題も残るサービスです。

## リアルタイムで聴覚障害者も楽しむ

文字通訳が生まれたのは、今から20年ほど前の90年代前半です。80年代後半、パソコン通信の一機能として、チャットという文字によるオンラインでの会話が始まりました。

なハードルが高く、コストもかかります。音声を二言一句瞬時に文字にできる入力者も増えてきていますが、十分ではありません。音声入力が活用できるとよいのですが、まだ実用化には至っていません。

### ●講演会に参加した健聴者からも、文字通訳は好評でした

そういつた反響が今後の文字通訳のサービス拡大につながるとうれしいです。いつかすべての講演会に文字通訳がつき、聴覚障害者も思いついたときに外向いて健聴者と変わらなく話を楽しめる、そんな未来に期待したいです。

チャットを楽しんでいたある日たまたま同時に見ていたテレビの音声を入力して送ってくれた健聴者の友人がいました。

聴覚障害者に向けたサービスとしては、要約筆記者が内容を要約してスクリーンに映

話し手の言葉がそのまま打ち出される文字通訳では、会場の皆さんと一体感まで得られます。

## アイムインフォメーション

お問い合わせは、女性総合センター ☎(528)6801へ

### 11月は女性に対する暴力防止月間です

男女平等参画課では次の事業を行います。詳しくは、チラシ等をご覧ください

- あるコピーライターの伝え方  
日時：11月16日(土)午後2時～4時
- 心に響かせるDV根絶パネル展  
日時：11月20日(水)～22日(金)  
(最終日は正午まで)

### 市民企画活動事業

- セクシャルハラスメント・露呈したスポーツ界  
日時：11月24日(日)午後2時～4時  
企画・運営：女性の視点を活かす会・アエネ
- 思春期の健康講座  
日時：11月30日(土)  
午後1時30分～3時30分  
企画・運営：Body&Soul

### 第3回 立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所 募集中

#### 募集締め切り：平成 26年 3月 31 日(月)

市では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)推進に積極的に取り組む市内の事業所を認定します。認定されると認定証を交付するほか、事業所の取り組みについて市のホームページや情報紙等で広く紹介します。

#### ●応募条件

ワーク・ライフ・バランス推進に関する取り組みを積極的に行い、その成果を上げている市内事業所、企業。

#### ●応募方法

くわしくは市ホームページ  
<http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=7880>をご覧ください。

### 情報紙「アイム(No.31)」の企画・編集

- 市民編集委員：片野 勸、株屋根 美保子、  
鈴木 洋子、武江 俊江
- 助言者：原 和美
- 協力：玉井 公子

## 立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所

第2回立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所を認定しました。

### 従業員の声を聞きながら働きやすさを実現

社会医療法人社団 健生会 立川相互病院

#### 具体的な取り組み

- 24時間対応も可能な院内保育所を設置
- 育休復帰に向けた懇談会の開催
- 従業員の要望や意見を取り入れるため、3つの委員会を開催
- 各種マニュアルを整備し、休暇取得者の業務をカバー
- 業務体制の見直しにより残業時間を減少
- 従業員支援のための外部相談窓口の設置
- 院内・院外教育の充実

### 女性の活躍を経営施策として組織的に推進

株式会社日本政策金融公庫 立川支店

#### 具体的な取り組み

- 女性のキャリア形成支援
  - ・女性キャリアの開発支援
  - ・女性管理職候補者の育成体制の整備(育成プログラム「プロジェクト Challenge!!」)
  - ・「業務職育成制度」やメンター制度などの導入
- ワーク・ライフ・バランスの推進
  - ・「ワーク」と「ライフ」の両立支援(転勤特別制度の拡充)
  - ・ノー残業デー、セミナーの実施などによる意識向上
  - ・男性の育児参画「パパ活」の推進
- 啓発・組織風土の改善
  - ・経営層からのメッセージ発信や管理職教育の実施
  - ・「女性活躍推進地域委員会」の配置